

第51回通常総代会第1号(イ)

通常総代会決定

2006年5月28日(日)
ボルフアートとやま

2005年度の活動のまとめ

私たちは、「健康と平和を届け、楽しくて、為になり、頼りになる医療生協」をめざして活動を進めてきました。健康チャレンジャーへの挑戦や、夢プランの見学会や学習会。「ぼぶら」での支部職場一体となった事業活動の推進。そして、組織強化月間を中心に1,000名を超える新組合員を迎えるなど、厳しい情勢を切り開くために支部や地域を舞台に組合員と職員が力をあわせて取り組んできました。

2005年度の富山医療生協のあゆみ

- 4月: 個人情報保護全面スタート、4/7世界保健デー(チンドンコンクール)、4/17ひまわり外出会(133名)、4/29水診通所りハビリ「のびのび」竣工式
5月: 5/7通信教育修了式(半田正子さん)、5/20協立病院送迎ボランティア開始
6月: 「虹の健康チャレンジャー」募集開始、「班会月間」「教育月間」「健診強化月間」、6/12民医連共同組織交流会(8名岡山)、6/18県生協連「平和のつどい」、6/19「パワーアップ教室～楽しく学んで班会開催大作戦」(94名)、6/26県生協連・海岸クリーン作戦
7月: 7/16～17中部ブロック組合員活動交流集会(10名鳥羽)、7/16富診まつり(320名)、7/23平和納涼祭り(700名)、7/25～ブロック主催保健講座(えがお、22名)、7/31ぼぶら夏祭り ぼぶら音頭誕生(200名)
8月: 原水爆禁止世界大会・日本母親大会、8/8～11ソウル医療生協交流、8/8～9夢プラン「みなと、南医療生協見学」(31名)、8/28水橋健康まつり(350名)
9月: 9/3通信教育開校式、9/25映画「アンゼラスの鐘」、9/25水診休日健診、9/25えがお外出会(119名)
10月: 組織強化月間、10/1「せーの行動」、10/2ウォークイベント(58名)、10/22じん肺アスベスト県民の集い、10/23ぼぶら外出会(88名)、10/23水診「のびのび」外出会(53名)、10/30「健康と文化の集い」(170名)
11月: 協立病院与島明美新院長就任、県単独福祉医療費助成制度を守る活動開始、11/11ゲートボール大会(14組)、くらしの学校開催(6講座)、11/19医療生協9条の会発会式(81名)、11/20・24時間蓄尿塩分調査(76名)、11/21県生協連健康と福祉の集い、11/22信州平和バスツアー(35名)、11/15～16高齢者大会(9名)
12月: 12/17やくし支部介護事業所建設検討集会(15名)
1月: 1/21回想法学習会(83名)
2月: バレンタイン行動(9地域、7事業所)、県単独福祉医療費助成制度4月改悪実施断念(約2万筆の署名)、2/22富山市保健所「健康日本21」懇談会
3月: 3/5「組合員活動交流集会」(187名)、3/11乳がん予防公開講

(1) 元気あふれる、健康で平和なまちづくり

～仲間がいるからできる。楽しく進める健康づくり～

- ①「健康チャレンジャー・ステップ500」は、コースの増加と、健康づくり班会の「パワーアップ教室」を開催し、昨年を上回る414名が挑戦しました。しかし記録回収率は40%に留まり、実効性のある継続的な取り組みが課題です。
②「世界保健デー」や「WHOウォークイベント」に取り組みました。健康づくり推進自治体懇談会(富山市)をはじめ、保健センターや町内会、長寿会、購買生協や新婦人など他団体との健康づくりの連携が進みました。
③今年も「健診強化月間(6～7月)」に取り組みしました。



▲「医療生協9条の会」発会記念平和バスツアー。信州の「無言館」へ。



▲楽しく為になる班会を、と、「パワーアップ教室」を開催。

特に「腹部エコーセット検診」や、水橋診療所休日健診は、好評でした。「健康と文化のつどい」は、作品展示や舞台発表など、組合員の健康と文化の交流となり、継続開催が期待されています。

- ④「富山医療生協9条の会」が結成されました。まちづくり委員会を中心に、映画会(「アンゼラスの鐘」、「あした元気になるれ」など)や、信州平和バスツアー、くらしの学校開催など多彩に取り組みしました。職員も「戦争体験を聞く」取り組みを進めました。富山県単独福祉医療費助成制度を守る署名運動を推進し、06年度廃止をやめさせる大きな力となりました。

(2) 助け合いのネットワークを広げ、社会に役立つ生協運動と組織づくり

- ①組合員の要求を協同の力で実現する「夢プラン推進事業」

- i) 組合員・職員で認識を共有する為に、支部や理事会で見学会(庄内、南、みなと医療生協、他施設など)や学習会を積極的に行いました。推進委員会では、個別課題の討議を進め、「推進事業プラン(案)」を作成しました。
ii) 協立病院の送迎ボランティアも定着し、水橋診療所「のびのび」でも運動サポーター養成講座が始まりました。やくし支部では、ふれあいサロンづくりが始まりました。支部主催でボランティア学校も開催され2ヶ所で18名が修了し、ボランティアに活躍する組合員も150名となりました。



▲「社会保障の後退を許すな！」白衣の宣伝活動

- ②全国4課題

組織強化月間は、「10.1 せーの行動」(220名参加、136人加入)を起点に、11.5～6「ステップGO!GO!デー」、11.17「ジャンプ集会」など、節目ごとの意思統一を図り進めました。医療生協の健康づくりの魅力が大いに語り、同居の若い世帯の加入にも意識的に取り組みました。その結果、萩浦、富南、水橋西部、広田の各支部が3課題の年間目標を達成。婦中支部では「ぼぶら」開設後も引き続き多くの増資が寄せられました。また、協立病院、富山診療所、「きずな」、「えがお」の各事業所で仲間ふやし目標を達成。特に富診では患者様に気軽に広く訴え目標の2倍を超える111人の加入となりました。全体としては、10年ぶりに4桁の1,042名の新組合員を迎え、班会も過去最高の1,116回開催。5年連続で5,000万円を上回る出資金が寄せられ、出資金額は6億7千万円になりました。しかし他方で、ここ数年、班会開催実班数や参加組合員数及び健康チェック数は減少傾向で広がり弱さが課題となっています。

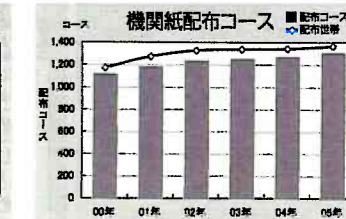
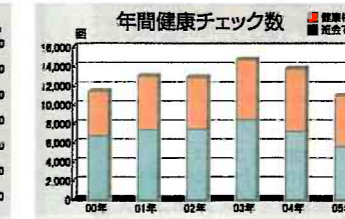
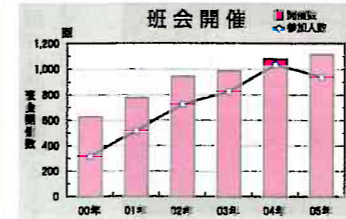
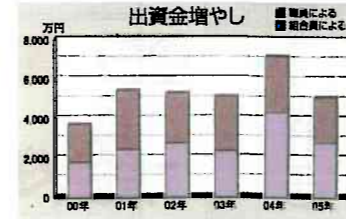


▲セラバンド体操で健康づくり。具羽支部北班

- ③支部主体の活動、支部事業所連携、理事会の役割

ブロック別支部長会議(3ヶ所)が定着しました。保健講座(えがお)や憲法学習会(水診)も、ブロック単位で取り组まれました。職場の地域担当制や、月間における理事・支部役員等の奮闘は支部の活動を大きく励ました。新支部の結成には至りませんでした。

活動状況



(3) 地域・組合員の要求に応え 信頼される医療介護事業

- ①協立病院では、地域における役割を全職員であらためて協議し、機能の転換強化にむけた基本方針を明確にしました。公的病院や介護施設との連携強化やメタボリック(内臓脂肪症候群)外来等にむけた取り組みを開始しました。透析医療の増加や医療安全管理体制の確立などの医療整備でも前進しました。富診では、腹部エコーを利用した「メタボリック検査」を開始し好評を得ています。



▲「のびのび」で始まった運動サポーター教室

- ③全事業所で、「品質マネジメントシステム(ISO9001)」に取り組み、認証を得ました。また、取り組みの過程で、全介護事業所に利用委員会が結成されました。4月全面施行の個人情報保護法にも適切に対応してきました。

- ④事業所利用者の減少傾向が続いています。組合員の利用促進とともに、地域から選ばれる事業所づくりにむけ、支部や組合員の協同した取り組みの強化が急務となっています。

②「のびのび」は、リハビリ機能を前面に出し、地域の医療介護施設との連携も強めながら利用者を増やしてきました。「ぼぶら」は、組合員の献身的な協力にも支えられて介護度の高い人も受け入れ地域の期待に応えています。そして組合員活動センターとして支部活動の拠点となっています。「きずな」と「ひまわり」は、富山市より地域包括支援センターの委託を受けました。



▲「ぼぶら」ボランティア「宇宙(そら)の会」の皆さん

- ⑤理事会倫理委員会で終末期医療や利用者の人権などについての事例検討が始まりました。

- ⑥薬剤などの共同購入事業がスタートしました。

(4) 学びあう育ちあう人づくり

- ①MBO(目標マネジメント)は、全ての職場目標とほぼ全職員の個人目標が設定されるようになりました。
②通信教育は、組合員125名、職員166名が受講(修了率89%)しました。職員は、職場ごとの集団受講も進めながら目標を達成しました。憲法コースは、憲法学習会をスクーリングと位置づけました。今後、スクーリングについては専門委員会の協力や教育委員会主催とするなどの工夫が必要です。
③「医療生協人」の討議は、理事会と事業所管理部にとどまりました。
④富山診療所で模擬患者制度を活用した学習会が持続的に取り組まれています。
⑤韓国ソウル医療生協の視察団と、班会体験などを通じて組合員同士で心通う交流を深めました。



▲ソウル医療生協の皆さんと班会体験

平和なまちづくり

みんなで育てる夢プラン

組合員＆職員

- 医療・介護の連携強化
- 在宅での療養を支える拠点づくり、援助できる体制づくり
- 元気な組合員の健康づくり
- 各支部 地域での福祉活動の展開、拠点づくり

医療生協の医療事業
通院・入院・往診・健診

生協会館
健康センター

病児保育・夜間保育

ショートステイ
グループホーム

ふれあいサロン
ミニデイサービス

健康相談会

地域まるごと健康づくり

協同と連携

行政 保健センター 地域包括センター 開業医 町内会
婦人会 長寿会 購買生協 NPO その他個人・団体とも

頼りになる医療生協づくり

2006年度 主な組合員活動予定

月	富山医療生活協同組合 支部 事業所	他団体・全国
4月	ちんどんコンクール(4/8~9) 地区別総代会議(4/23)	世界保健デー(4/7~9)
5月	通信教育2005年度修了式(5/6) 第51回通常総代会(5/28)	医療部会総会(5/15~16)
6月	支部運営委員会合宿研修(6/17~18) 富山まつり(6/10) のびのび1周年行事(6/11) 「班会開催月間」「教育学習月間」 「健診推進月間」(6月~7月)	平和行進(6/8~) 県生協連海岸クリーン作戦(6/25) ・八重津浜(富山市)、島尾海岸(氷見市)
7月	医療改善をはかえす 増資キャンペーン(7月~8月)	中部ブロック組合員活動交流会 (7/15~16 名古屋)
8月		日本母親大会(7/22~23 長野) 原水爆禁止世界大会 富山県母親大会(8/6 高岡) 県生協連平和のつどい(8/21)
9月	通信教育開講式(9/2) ほぶら外出会(9/24)	
10月	「組織強化月間」(10月~11月) ウォークイベント(10/1) 水橋健康まつり(10/22) 組合員健康のつどい(10/29)	
11月		富山医療生活協同組合運動交流会(11/19)
12月		
1月		
2月	通信教育合同スクーリング(2/3) 組合員活動交流会(未定)	
3月		

健診と一緒に受けられは

絶対 お得!!!

腹部エコー(超音波検査)

組合員価格 **1,500円!!!**

健診(自治体健診、組合員健診)とセットすることで、1,500円で受けることができます。
(未組合員価格:5,700円)

★腹部エコーでは、肝臓ガンや、胆のう、すい臓、膵臓などの臓器の状態がわかります。

詳しくは... 富山医療生活協同組合センターまで
TEL 076-444-5684

組合員健診(3,670円)

(未組合員価格 10,000円)

問診、身体測定、血圧・心電図測定、尿検査、心電図、胸部レントゲン、眼底、血液検査

虹の健康チャレンジャー

ジャンプ600

今年の本格的な健康づくり3年目、班やサークル仲間と、家族とチャレンジしよう!

①めざせ7,000歩コース
②しっかり歯磨きコース
(1日1回は汚れを落とさず歯磨きを)

③めざせ腹囲マイナス3cmコース
④自由設定コース

第51回通常総代会第2号(イ) 2006年度の 活動のすすめ方

- ① 誰もが「入ってよかった」と思える医療生協の健康づくりを進めます。
全支部事業所に担当者を配置し、「虹の健康チャレンジャー」を日常的に進めます。(目標600名)健康づくり名人(歯磨き名人、健康チエック名人等)
- ② みんなで楽しく地域まるごと健康づくりを進めます。
- ③ 保健、医療、福祉のネットワークの基盤づくりとして「富山医療生活協同組合」を実現します。



▲地域の視点と120人の仲間をつくる(やくし支部)

- ① 組織課題
第3次長期計画目標の3万人組合員を早期に実現します。
富山市北部、滑川、呉西地区の支部づくりを実現します。
事業所と連携したプログラムの活動を強化します。
品質マネジメントシステム(TSO)を活用

健康をつくるう! 平和をつくるう!

協同の力で頼りになる医療生協をつくりましょう



- ① 医療・保健活動
「患者の権利章典」の理解と実践を深め、安全安心の医療を進めます。
「地域のかかりつけ病院・診療所」として相談窓口や紹介機能を強化し、公的病院や開業医、介護サービス事業者等との地域連携を強めます。入院機能についても、公的病院との関わりや役割分担を明確にし、その機能を発揮します。
メタボリック(内臓脂肪症候群)やマンモグラフィを使った乳がんの検査、肥満や糖尿病など生活習慣の改善、高齢者の特性に応じた診療、透析、リハビリ、在宅医療など、医療生協ならではの特色を活かした取り組みを強めます。
アセスメント検査に取り組みます。
- ② 介護・福祉活動
介護サービス利用者の視点から、地域助け合いやボランティア等・組合員・住民とも協同した活動を本格的に進めます。
介護事業部に管理栄養士等を配置し、地域支援や予防介護、地域密着型サービスなど地域の要求に応える総合的な事業の展開をめざします。
夜間早朝訪問サービスなど新規事業に対応した施設機能の再編・整備をはかります。
質の高い「医療生協の介護」を組合員・利用者とともに実践し、利用委員会活動を開始します。
倫理委員会の討議が実践活動に活かせるように、事例検討会を普及します。
- ③ 保健、医療、福祉のネットワークの基盤づくりとして「富山医療生活協同組合」を実現します。

- ① 組合員・住民の期待に応えた医療福祉活動を進めます。
小泉政権の「構造改革」「規制緩和」政策のもとで、生活保護や貯蓄ゼロの世帯が増加しています。国民負担が増す一方、健康・教育・生活のあらゆる面で「格差」が拡大し、社会不安も増大しています。憲法9条改定の動きも強まり、国民の命と健康、憲法と平和が重大な危機に直面しています。
医療生協は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
今こそ、医療生協の「協同の力」を大いに発揮しましょう! 地域の期待に応え、地域から信頼されるたのしい医療生協を築きましょう!
- ② 組合員・職員の学びあいを進め、生協を支える人づくりを進めます。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
- ③ 富山3万人(全国300万人)の実現で、情勢をきりひらく組織づくりを進めます。
「水橋福祉のまちづくり」運動や、地域支援活動を推進するモデル作りを進め、経験を普及します。
ホームページや「虹のまち」等で、事業所や支部の日常活動の紹介を強めます。



▲笑顔あふれる活動をつくりましょう!

- ④ 組合員・職員の学びあいを進め、生協を支える人づくりを進めます。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
職員は、くらしの中で信頼し助け合う「協同」の人間関係を作り上げ、誰もが安心して暮らせる地域まるごと健康づくりをめざしています。
- ⑤ 第4次長期計画(07~11年)を策定します。
「夢プラン推進事業」を、当面の中期計画(2~3年程度)として位置付けて取り組みます。

2006年度 全国4課題目標

仲間ふやし	1,500名
班会開催	300班 1,500回
出資金ふやし	1億5,000万円
担い手づくり	
通信教育	350名
各種講座修了	150名

▲組合員と職員が一緒に地域まるごと健康づくり

2006年度 通信教育

学ぶ・変わる・みんなで動く

医療生協は、「学びあひ」を大切にしています。明るいまちづくりをすすめる元気のもと...一緒に学習しましょう!

新コース 「医療生協と介護」

▲平和をつくる活動をあげましょう